令和６年度

# 全国学力・学習状況調査報告書

令 和 ６ 年 １ ０ 月

当 別 町 教 育 委 員 会

# 目　　次

Ⅰ　調査について　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ　学力調査の状況　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　１）教科ごとの平均正答率と平均正答数
　２）全国平均を基準(100)とした場合の領域ごとの正答率と無解答率
　３）正答率 30%以下の児童生徒の割合
　４）全国平均正答率との差（経年変化）
　５）結果概要

Ⅲ　学習状況調査（児童生徒質問紙・学校質問紙）の状況　　・・・・・・・・・　4
　１）基本的生活習慣等に関すること
　２）家庭学習等に関すること
　３）挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等に関すること
　４）授業改善等に関すること

Ⅳ　令和７年度当別町学力向上プラン　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

# Ⅰ　調査について

## 1　目的

（１）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

（２）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

（３）以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2　対象学年

（１）小学校（義務教育学校）第６学年

（２）中学校第３学年（義務教育学校第９学年）

## 3　内容

（１）教科に関する調査

| | |
|---|---|
| **対象教科** | 小学校調査：国語、算数<br>中学校調査：国語、数学 |
| **出題範囲** | 原則として、調査する前年の前学年までに含まれる指導事項 |
| **出題内容** | ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識、技能等<br>②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等<br>調査問題では、①と②を一体的に問う |
| **出題形式** | 記述式の問題を一定割合で導入 |

（２）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

| | |
|---|---|
| **児童生徒に対する調査** | 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 |
| **学校質問調査** | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 |

## 4　期日

令和６年４月１８日（木）

※児童生徒質問紙は、４月１０日（水）から３０日（火）までの間で各学校の状況に応じて実施

## 5　実施した学校及び児童生徒数

| | 対象学校数 | 対象児童生徒数 | 参加児童生徒数 | 参加率 |
|---|---|---|---|---|
| **小 学 校**<br>**（義務教育学校前期課程を含む）** | ２校 | ７６人 | ７１人 | ９３．４％ |
| **中 学 校**<br>**（義務教育学校後期課程を含む）** | ２校 | １０２人 | ８７人 | ８５．２％ |
| **合　　計** | ４校 | １７８人 | １５８人 | ８８．７％ |

※参加児童生徒数は、対象となる児童生徒数のうち、当日体調不良等により参加できなかった児童生徒を除いた人数。

# Ⅱ　学力調査の状況

## 1　教科ごとの平均正答率と平均正答数

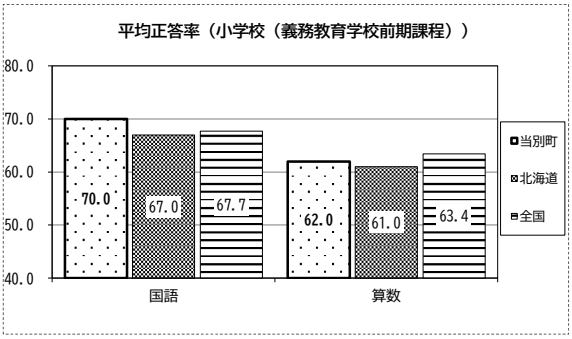
### （1）小学校（義務教育学校前期課程）

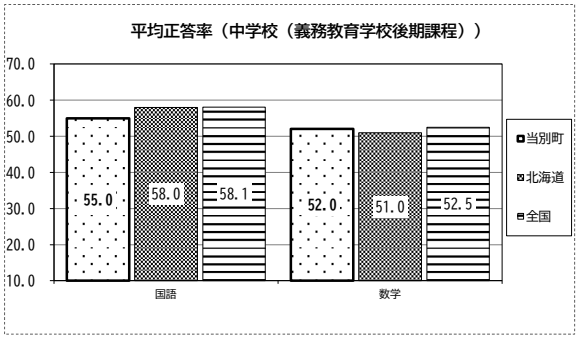
| | 国語 | | 評価の観点 | | 問題形式 | | 算数 | | 評価の観点 | | 問題形式 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 平均正答率（%） | 平均正答数/問題数 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 選択式 | 記述式 | 平均正答率（%） | 平均正答数/問題数 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 選択式 | 記述式 |
| 当別町 | 70.0 | 9.8/14 | 72.8 | 67.6 | 71.1 | 71.8 | 62.0 | 10.0/16 | 71.4 | 50.9 | 73.5 | 52.1 |
| 北海道 | 67.0 | 9.3/14 | 69.0 | 65.1 | 68.9 | 64.2 | 61.0 | 9.7/16 | 69.6 | 49.0 | 72.9 | 48.3 |
| 全国 | 67.7 | 9.5/14 | 69.8 | 66.0 | 69.9 | 64.6 | 63.4 | 10.1/16 | 72.8 | 51.4 | 75.3 | 51.0 |
| 全国との差 | ＋ 2.3 | ＋ 0.3 | ＋ 3.0 | ＋ 1.6 | ＋ 1.2 | ＋ 7.2 | ▲ 1.4 | ▲ 0.1 | ▲ 1.4 | ▲ 0.5 | ▲ 1.8 | ＋ 1.1 |

### （2）中学校（義務教育学校後期課程）

| | 国語 | | 評価の観点 | | 問題形式 | | 数学 | | 評価の観点 | | 問題形式 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 平均正答率（%） | 平均正答数/問題数 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 選択式 | 記述式 | 平均正答率（%） | 平均正答数/問題数 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 選択式 | 記述式 |
| 当別町 | 55.0 | 8.3/15 | 60.9 | 51.5 | 60.4 | 39.1 | 52.0 | 8.3/16 | 61.4 | 30.2 | 55.8 | 30.2 |
| 北海道 | 58.0 | 8.6/15 | 61.6 | 54.9 | 60.8 | 44.1 | 51.0 | 8.2/16 | 61.6 | 27.8 | 57.1 | 27.8 |
| 全国 | 58.1 | 8.7/15 | 62.0 | 55.4 | 61.0 | 45.5 | 52.5 | 8.4/16 | 63.1 | 29.3 | 58.5 | 29.3 |
| 全国との差 | ▲ 3.1 | ▲ 0.4 | ▲ 1.1 | ▲ 3.9 | ▲ 0.6 | ▲ 6.4 | ▲ 0.5 | ▲ 0.1 | ▲ 1.7 | ＋ 0.9 | ▲ 2.7 | ＋ 0.9 |

※平均正答率は、国から提供されたデータをもとに、町教委が独自に算出した小数値を記載。
※平均正答数は、国から提供されたデータによる。
※(　)内の平均正答数と問題数欄は分子が平均正答数で、分母が問題数として記載。
※平均正答率･･･平均正答数を百分率で表示。国語、算数ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）。




## 2　全国平均を基準(100)とした場合の領域ごとの正答率と無解答率

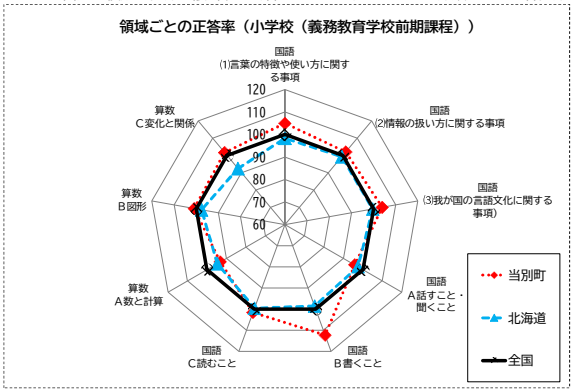
### （1）小学校（義務教育学校前期課程）

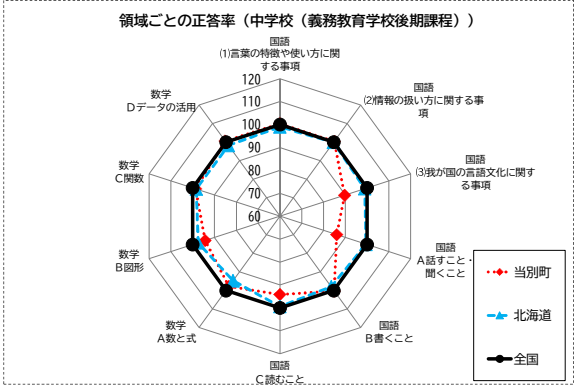
| | | 国語 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 | 国語 (2)情報の扱い方に関する事項 | 国語 (3)我が国の言語文化に関する事項） | 国語 A話すこと・聞くこと | 国語 B書くこと | 国語 C読むこと | 算数 A数と計算 | 算数 B図形 | 算数 C変化と関係 | 算数 Dデータの活用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 問題数 | | 4/14 | 1/14 | 1/14 | 3/14 | 2/14 | 3/16 | 6/16 | 4/16 | 3/16 | 4/16 |
| 正答率 | 当別町 | 105.0 | 102.1 | 103.9 | 95.8 | 112.3 | 101.6 | 93.2 | 100.9 | 101.7 | 102.6 |
| | 北海道 | 98.3 | 99.3 | 99.6 | 97.5 | 98.5 | 99.6 | 94.7 | 97.6 | 92.5 | 96.6 |
| | 全国 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 無解答率 | 当別町 | 41.2 | 0.0 | 73.7 | 0.0 | 0.0 | 61.9 | 34.1 | 10.8 | 54.4 | 37.7 |
| | 北海道 | 101.7 | 77.8 | 84.2 | 65.2 | 103.4 | 93.9 | 104.9 | 103.1 | 108.7 | 104.9 |
| | 全国 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

### （2）中学校（義務教育学校後期課程）

| | | 国語 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 | 国語 (2)情報の扱い方に関する事項 | 国語 (3)我が国の言語文化に関する事項 | 国語 A話すこと・聞くこと | 国語 B書くこと | 国語 C読むこと | 数学 A数と式 | 数学 B図形 | 数学 C関数 | 数学 Dデータの活用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 問題数 | | 3/15 | 2/15 | 1/15 | 3/15 | 2/15 | 4/15 | 5/16 | 3/16 | 4/16 | 4/16 |
| 正答率 | 当別町 | 100.3 | 100.3 | 89.7 | 86.1 | 100.3 | 94.2 | 97.8 | 94.3 | 98.7 | 100.5 |
| | 北海道 | 99.0 | 99.8 | 98.9 | 99.5 | 98.0 | 99.4 | 94.7 | 97.5 | 98.4 | 98.2 |
| | 全国 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 無解答率 | 当別町 | 61.5 | 0.0 | 0.0 | 108.0 | 109.6 | 115.5 | 122.7 | 115.1 | 118.4 | 109.9 |
| | 北海道 | 114.6 | 81.8 | 134.8 | 105.1 | 119.7 | 116.3 | 115.1 | 110.9 | 123.0 | 114.4 |
| | 全国 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

※教科の領域別に全国を100とした場合の状況を示したもの。
※（当別町児童生徒の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
※1つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数と一致しない。



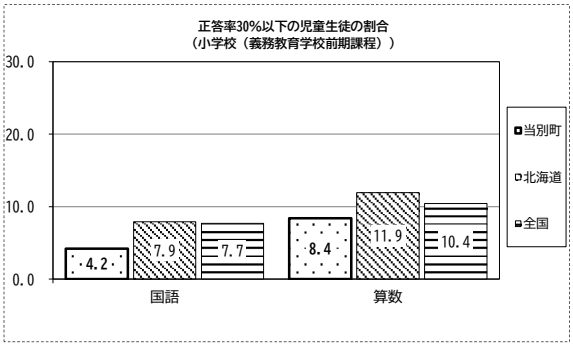
## 3　正答率30%以下の児童生徒の割合

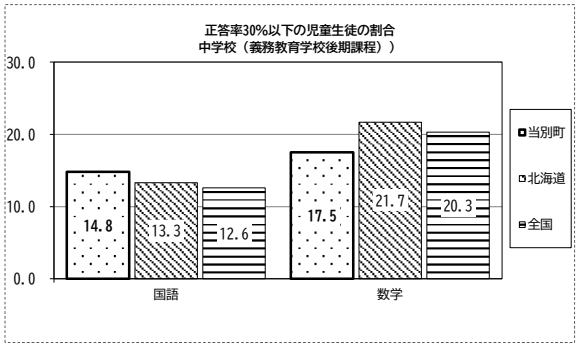
（1）小学校（義務教育学校前期課程）

| | 国語 | | 算数 | |
|---|---|---|---|---|
| 当別町 | 4.2% | | 8.4% | |
| 北海道 | 7.9% | | 11.9% | |
| 全国 | 7.7% | | 10.4% | |
| 正答率30%以下の児童生徒の割合 | 14問中4問以下 | | 16問中4問以下 | |
| 全国との差 | ▲　3.5 | 少ない | ▲　2.0 | 少ない |

（2）中学校（義務教育学校後期課程）

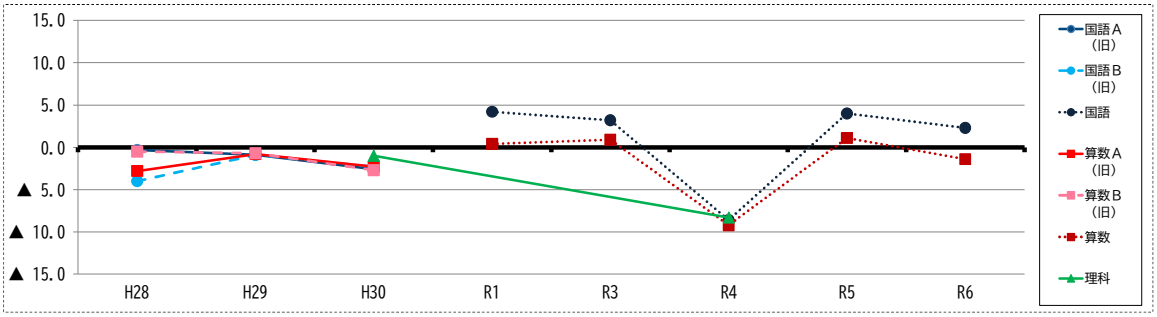
| | 国語 | | 数学 | |
|---|---|---|---|---|
| 当別町 | 14.8% | | 17.5% | |
| 北海道 | 13.3% | | 21.7% | |
| 全国 | 12.6% | | 20.3% | |
| 正答率30%以下の児童生徒の割合 | 15問中4問以下 | | 16問中4問以下 | |
| 全国との差 | ＋　2.2 | 多い | ▲　2.8 | 少ない |



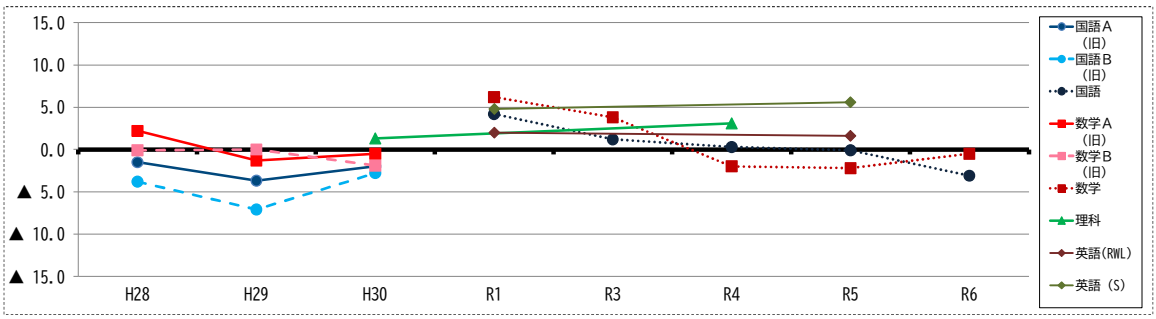




## 4　全国平均正答率との差（経年変化）

（1）小学校（義務教育学校前期課程）




（2）中学校（義務教育学校後期課程）




※全国の平均正答率との差を表示。
※理科・英語は３年ごとに実施。
※令和２年度は中止。

## 5　結果概要

・平均正答率では、小学校国語で全国平均を2.3%上回り、中学校数学では全国平均との差が0.5%と僅差となっています。

・小学校国語記述式の平均正答率は、全国平均を7.2%上回っています。一方、中学校国語記述式の平均正答率は、全国平均を6.4%下回っており、課題がある結果となりました。

・領域ごとの正答率は、小学校の10領域中８領域で全国平均を上回っています。小学校国語の「書くこと」では全国平均を100とした場合の正答率が112.3であり、特に良い成績でした。
　一方、中学校国語の「我が国の言語文化に関する事項」は89.7、「話すこと・聞くこと」は86.1と課題がある結果となりました。

・領域ごとの無解答率は、小学校ですべての領域で全国平均を下回り、３領域で無解答０と、無解答者が少なくなっています。

・正答率30%以下の児童生徒の割合は、小学校国語、小学校算数、中学校数学で全国平均を下回っており、学力に課題がある児童生徒が全国平均と比較して少ない傾向となっています。

・全国平均正答率との差では、中学校数学は前回実施時より上昇し、学力が向上しています。

## Ⅲ）学習状況調査（児童生徒質問紙・学校質問紙）の状況

### １．基本的生活習慣等に関すること

#### （１）児童生徒質問紙

①朝食を毎日食べている（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **89.3%** | 98.8% | -9.5% | 93.7% | -4.4% |
| 中学校３年生 | **92.0%** | 85.0% | 7.0% | 91.2% | 0.8% |

②毎日、同じくらいの時刻に寝ている（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **78.7%** | 90.3% | -11.6% | 82.9% | -4.2% |
| 中学校３年生 | **84.1%** | 75.0% | 9.1% | 80.7% | 3.4% |

③毎日、同じくらいの時刻に起きている（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **93.3%** | 92.7% | 0.6% | 91.6% | 1.7% |
| 中学校３年生 | **93.2%** | 95.0% | -1.8% | 92.5% | 0.7% |

④普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか（「１時間以上」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **64.0%** | 項目なし | | 74.3% | -10.3% |
| 中学校３年生 | **76.2%** | 項目なし | | 70.3% | 5.9% |

⑤普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでＳＮＳや動画視聴などをしますか（「１時間以上」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **42.7%** | 項目なし | | 51.1% | -8.4% |
| 中学校３年生 | **85.3%** | 項目なし | | 79.2% | 6.1% |

#### （３）傾向と分析

**【傾向】**

・朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小学校では全国平均を下回り、中学校では全国平均を上回っています。
前年度との比較では、小学校では前年度の結果を下回っていますが、中学校では前年度の結果を上回っています。

・毎日、同じ時間に寝ている（起きている）児童生徒の割合が、小学校の寝ている時間を除き、全国平均を上回っています。
前年度との比較では、中学校の寝ている時間、小学校の起きている時間で、前年度の結果を上回っています。

・スクリーンタイムが1時間以上の児童生徒の割合は、小学校では全国平均を下回り、中学校では全国平均を上回っています。

**【分析】**

・朝食を毎日食べる習慣の定着については、小学校で課題がある状況です。

・適切なスクリーンタイムの定着については、中学校で定着に向けて課題がある状況です。

・規則正しい生活習慣の定着には、家庭の教育が果たす役割が大きいことから、学校においては引き続き、教育課程の趣旨について、家庭や地域と情報共有を進め、相互に連携を図っていくことが求められます。

【「前年度比」「全国比」の凡例】

| | |
|---|---|
| ○.○% | ・・・前年度（全国平均）を上回っている項目 |
| －○.○% | ・・・前年度（全国平均）を下回っている項目 |

※４ページの④と⑤は、前年度（全国平均）を下回っていることが望ましいため、下回っている項目は赤色セル、上回っている項目は青色セルとしています。

## ２．家庭学習等に関すること

### （１）児童生徒質問紙

①学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、勉強のために使っていますか　（「１時間以上」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **37.4%** | 13.2% | 24.2% | 19.8% | 17.6% |
| 中学校３年生 | **15.9%** | 14.0% | 1.9% | 16.6% | -0.7% |

②学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾、家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用した学ぶ時間も含む）（「１時間以上」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **69.3%** | 62.7% | 6.6% | 54.6% | 14.7% |
| 中学校３年生 | **54.5%** | 77.0% | -22.5% | 64.3% | -9.8% |

③土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾、家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用した学ぶ時間も含む）（「２時間以上」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **18.7%** | 19.2% | -0.5% | 21.5% | -2.8% |
| 中学校３年生 | **23.9%** | 42.0% | -18.1% | 36.2% | -12.3% |

④放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか（複数選択）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | 家で勉強や読書 | 放課後子供教室や学童保育 | 地域活動 | 家以外の場所で勉強 | 習い事 |
| | 62.7% | 4.0% | 8.0% | 14.7% | 32.0% |
| | スポーツ | 家でテレビ・動画・ゲーム・ＳＮＳ | 家族と過ごす | 友達と遊ぶ | 当てはまるものがない |
| | 49.3% | 80.0% | 72.0% | 65.3% | 2.7% |
| 中学校３年生 | 学校の部活動 | 家で勉強や読書 | 地域活動 | 家以外の場所で勉強 | 習い事 |
| | 64.8% | 48.9% | 3.4% | 33.0% | 15.9% |
| | スポーツ | 家でテレビ・動画・ゲーム・ＳＮＳ | 家族と過ごす | 友達と遊ぶ | 当てはまるものがない |
| | 27.3% | 90.9% | 63.6% | 60.2% | 1.1% |

### （２）学校質問紙

①家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えている（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 96.1% | 3.9% |
| 中学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 91.9% | 8.1% |

②家庭学習について、児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行っている（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | **100.0%** | 項目なし | | 89.7% | 10.3% |
| 中学校 | **100.0%** | 項目なし | | 84.0% | 16.0% |

③学校では、児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かしている（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 96.1% | 3.9% |
| 中学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 82.8% | 17.2% |

## （3）傾向と分析

**【傾向】**

・家庭学習の習慣については、小学校で全国平均を上回っている項目が多く、定着している傾向にありますが、中学校では全国平均を下回っている項目が多くなっています。

**【分析】**

・学校以外での勉強時間について、中学校で全国平均を10ポイント程度下回っていることから、家庭学習の習慣を定着させるための取り組みが必要であると考えられます。

・放課後や週末の過ごし方において、ゲームや動画、ＳＮＳを使用して過ごす時間の影響もあり、家庭学習への取り組みに課題が見られています。

・学校質問紙からは、家庭学習の取組への指導が継続的になされていますが、児童生徒の行動変容には課題が見られるため、引き続き家庭学習を効果的に行うための調査研究や家庭への啓発に取り組むことが重要です。

## ３．挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等に関すること

### （１）児童生徒質問紙

①自分には、よいところがあると思う（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **77.4%** | 85.6% | -8.2% | 84.1% | -6.7% |
| 中学校３年生 | **77.3%** | 85.0% | -7.7% | 83.3% | -6.0% |

②先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **88.0%** | 96.4% | -8.4% | 89.9% | -1.9% |
| 中学校３年生 | **94.4%** | 98.0% | -3.6% | 90.4% | 4.0% |

③将来の夢や目標を持っている（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **90.6%** | 94.0% | -3.4% | 82.4% | 8.2% |
| 中学校３年生 | **56.8%** | 75.0% | -18.2% | 66.3% | -9.5% |

④人が困っているときは、進んで助けている（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **90.6%** | 94.0% | -3.4% | 92.7% | -2.1% |
| 中学校３年生 | **86.4%** | 88.0% | -1.6% | 90.1% | -3.7% |

⑤いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **98.7%** | 97.6% | 1.1% | 96.7% | 2.0% |
| 中学校３年生 | **97.7%** | 98.0% | -0.3% | 95.7% | 2.0% |

⑥困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **64.0%** | 77.1% | -13.1% | 67.1% | -3.1% |
| 中学校３年生 | **50.0%** | 62.0% | -12.0% | 67.5% | -17.5% |

⑦人の役に立つ人間になりたいと思う（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **100.0%** | 98.7% | 1.3% | 95.9% | 4.1% |
| 中学校３年生 | **97.7%** | 91.0% | 6.7% | 95.2% | 2.5% |

⑧学校に行くのは楽しいと思う（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **88.0%** | 94.0% | -6.0% | 84.8% | 3.2% |
| 中学校３年生 | **88.6%** | 74.0% | 14.6% | 83.8% | 4.8% |

⑨自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **88.0%** | 89.2% | -1.2% | 75.8% | 12.2% |
| 中学校３年生 | **71.6%** | 87.0% | -15.4% | 76.2% | -4.6% |

⑩普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか（「よくある」「ときどきある」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **90.6%** | 94.0% | -3.4% | 91.7% | -1.1% |
| 中学校３年生 | **84.1%** | 91.0% | -6.9% | 89.8% | -5.7% |

## （２）学校質問紙

①スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童生徒が相談したい時に相談できる体制となっている
（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

| | R６ | Ｒ５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | 100.0% | 項目なし | | 90.6% | 9.4% |
| 中学校 | 100.0% | 項目なし | | 95.0% | 5.0% |

②各児童生徒の様子を、担任や副担任だけでなく、多くの職員で見取り、情報交換している
（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

| | R６ | Ｒ５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | 100.0% | 項目なし | | 99.6% | 0.4% |
| 中学校 | 100.0% | 項目なし | | 99.6% | 0.4% |

## （３）傾向と分析

**【傾向】**

・「自分には、よいところがある」の項目で、小学校・中学校ともに全国平均を下回っています。

・「将来の夢や目標を持っている」の項目で、小学校は全国平均を上回っていますが、中学校で全国平均を下回っています。

・「いじめは、どんな理由があってもいけない」の項目で、小学校・中学校ともに全国平均を上回っています。

・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」の項目で、小学校・中学校ともに全国平均を下回っています。

**【分析】**

・学校質問紙において「ＳＣやＳＳＷによる児童生徒が相談したいときにできる体制」や「児童生徒の様子を多くの職員で見取り、情報交換している」の項目で全国平均を上回る結果ですが、児童生徒は、いつでも相談できるとは十分認識できていない傾向が見られます。
そのため、ＷＥＢＱＵ等を活用した未然の対応や、複数の職員での積極的な相談体制の仕組みづくりに継続して取り組む必要があります。

・自己有用感に課題が見られますが、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたい」「学校に行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と感じる児童生徒が全国と比較して高い傾向にあることから、対話を重視した授業改善を進めながら、継続して他者との関わりを通じて、自己有用感を育む取り組みが必要です。

・「将来の夢や目標を持っている」の項目では、小学校で高く中学校で低くなる傾向が見られるため、将来の夢の実現に向けたキャリア教育を充実させながら、未来への期待を抱く取り組みを継続する必要があると考えます。

## ４．授業改善等に関すること

### （１）児童生徒質問紙

①授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたか
（「発表していた」「どちらかといえば、発表していた」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **74.6%** | 83.1% | -8.5% | 67.6% | 7.0% |
| 中学校３年生 | **56.8%** | 70.0% | -13.2% | 64.8% | -8.0% |

②授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **90.7%** | 85.6% | 5.1% | 81.9% | 8.8% |
| 中学校３年生 | **78.4%** | 87.0% | -8.6% | 80.3% | -1.9% |

③学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができているか
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **94.6%** | 96.4% | -1.8% | 86.3% | 8.3% |
| 中学校３年生 | **87.5%** | 82.0% | 5.5% | 86.1% | 1.4% |

④学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **89.3%** | 82.0% | 7.3% | 80.8% | 8.5% |
| 中学校３年生 | **63.7%** | 69.0% | -5.3% | 77.9% | -14.2% |

⑤授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思うか（「当てはまる」
「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **86.6%** | 83.1% | 3.5% | 83.7% | 2.9% |
| 中学校３年生 | **75.0%** | 71.0% | 4.0% | 79.0% | -4.0% |

⑥先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思うか
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **88.0%** | 95.2% | -7.2% | 87.9% | 0.1% |
| 中学校３年生 | **84.1%** | 99.0% | -14.9% | 84.9% | -0.8% |

⑦授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいるか
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **92.0%** | 項目なし | | 91.6% | 0.4% |
| 中学校３年生 | **92.1%** | 項目なし | | 92.3% | -0.2% |

⑧授業で、ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、どの程度使用したか（「ほぼ毎日」「週３回以上」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校６年生 | **86.7%** | 57.8% | 28.9% | 59.5% | 27.2% |
| 中学校３年生 | **67.0%** | 62.0% | 5.0% | 64.4% | 2.6% |

## （２）学校質問紙

①授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思うか
（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 88.2% | 11.8% |
| 中学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 88.4% | 11.6% |

②授業では、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思うか
（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 78.3% | 21.7% |
| 中学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 82.7% | 17.3% |

③児童生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思うか
（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 87.2% | 12.8% |
| 中学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 89.7% | 10.3% |

④児童生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思うか
（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | **100.0%** | 項目なし | | 93.6% | 6.4% |
| 中学校 | **100.0%** | 項目なし | | 96.1% | 3.9% |

⑤学習指導において、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、
協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫している（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 94.5% | 5.5% |
| 中学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 94.0% | 6.0% |

⑥授業では、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしたか
「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | **100.0%** | 項目なし | | 95.8% | 4.2% |
| 中学校 | **100.0%** | 項目なし | | 96.3% | 3.7% |

⑦授業では、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか
（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 89.3% | 10.7% |
| 中学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 85.1% | 14.9% |

⑧教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のＩＣＴ機器を活用した授業を１クラス当たりどの程度行ったか
（「ほぼ毎日」「週３回以上」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 92.9% | 7.1% |
| 中学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 91.9% | 8.1% |

⑨児童生徒一人一人に配備されたＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、授業でどの程度活用したか
（「ほぼ毎日」「週３回以上」と回答した割合）

| | R６ | R５ | 前年度比 | 全国平均 | 全国比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学校 | **100.0%** | 50.0% | 50.0% | 93.2% | 6.8% |
| 中学校 | **100.0%** | 100.0% | 0.0% | 90.8% | 9.2% |

## （3）傾向と分析

**【傾向】**

・児童生徒質問紙における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」に関する項目について、小学校では全国平均を上回っている項目が多いですが、中学校では全国平均を下回っている項目が多く見られています。

・授業におけるＰＣ・タブレットの使用については、小学校・中学校ともに全国平均を上回っています。

**【分析】**

・学習指導において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業内容の工夫・改善に取り組んだことにより、児童生徒が対話活動を通じて、自らの学びを深めることにつながっていると考えられます。しかし、中学校では、一部低い項目も見られることから、対話を重視した授業改善に取り組みながら、授業で学んだことが次の学習や実生活に生かすことができる教科横断的な学習にいっそう取り組む必要があると考えられます。

・授業におけるＰＣ・タブレットの使用については、特に小学校では全国平均と比較して27.2ポイント、中学校では2.6ポイント上回るなど、ＩＣＴを活用した授業改善の取り組みが進められています。

# 当別町学力向上プラン

未来を拓く9年間
当別町小中一貫教育

## ●当別町の学力の状況（令和６年度「全国学力・学習状況調査」平均正答率）

| | 国語 | 算数／数学 |
|---|---|---|
| 小学校 | 70.0%（全国平均以上） | 62.0% |
| 中学校 | 55.0% | 52.0% |

**成果**

●小学校国語で全国平均を上回る
●平均正答率30%以下の児童生徒が少ない
●小学校で家庭学習習慣が定着している
●小学校で無解答率が低い
●記述式問題への対応が進んでいる
●ＩＣＴの活用が進んでいる

**課題**

●中学校で無解答率が高い傾向にある
●家庭学習習慣の定着・授業改善の取組をいっそう進めること
●朝食を食べる習慣や適切なスクリーンタイムなど、規則正しい生活習慣の定着させること
●挑戦心、自己有用感等を高めること

**課題へのアプローチ**

●対話を重視した授業への転換
●一人一台端末を活用した多様な学び
●ＡＩドリル、ＩＣＴ機器の利活用
●とうべつ未来学における探究活動の充実
●家庭学習の拡充・習慣化
●全ての児童生徒の発達を支える指導

**Ｒ７年度目標**

「全国学力・学習状況調査」全教科全国平均以上

# 未来を拓く9年間

当別町小中一貫教育